

「支援の質」を高める支援者研修のご案内



子ども支援者がコミュニケーション力を磨く場をつくりませんか？

子ども支援者が子どもを尊重し、信頼関係を築くコミュニケーション方法を学ぶことで、「支援者と子ども」という力の差が明らかな関係を、お互いを尊重し合える関係に変えていくことができます。

2023年にはこども家庭庁がスタートし、子どもの声を取り入れた政策立案や、NPO・地域との協働の機運が高まっています。子ども支援者がコミュニケーション力を磨く研修をあなたの地域でも開催してみませんか。

認定NPO法人ムラのミライ

メール expert@muranomirai.org 電話 050-3096-6399
〒662-0856 兵庫県西宮市城ヶ堀町2-22 早川総合ビル3F

コミュニケーションを見直すことで

「支援の質」を高めることができます

Before



子ども支援団体が抱える悩み

- ✓ 「困ったことはなんて言ってね」と言っても「大丈夫」という返事ばかりで、なかなか話してもらえない。
- ✓ 学校や家での悩みなどセンシティブな話を何から聞けばいいのか分からない。
- ✓ 「寄り添う」、「見守る」といったコミュニケーション方法は、個人の経験則に任せられ、支援者によって対応がバラバラ。新しい支援者がなかなか育たない。

After



研修によって、子ども支援団体に取り組めるようになること

- 支援者が子どもとの日常会話から、支援につながる情報を収集することができるようになります。
- 支援者が子どもとの信頼関係を築くために、何を入り口にして話をするかが分かるようになります。課題を抱える子どもとの距離の取り方が楽になります。
- 支援者が個人でできること、組織としてできること、他機関との連携が必要なことの区別ができるようになり、支援者個人の心理的負担が軽減します。
- 支援者間で齟齬が生まれやすい「寄り添う」、「見守る」といったコミュニケーション方法について共通理解を積めるようになります。長期的には、団体内の経験や知識を生かした人材育成の仕組みづくりに繋げることができます。

研修のご案内：ベーシックコース

研修内容、予算はご相談に応じます

●A 入門セミナー (まずは知ってみる)

- 目標：自分の子どもへの投げかけのクセを知る
- 内容：講座（事実を聞くメタファシリテーション®手法の基礎紹介）
- 時間：2時間
- 費用：110,000円（税込・旅費交通費別）
- 定員：20人（1団体から1名以上参加、複数団体同時受講可能）

活動をはじめたばかりの団体におすすめ
☆☆☆

●B 基礎講座 (練習方法を身につける)

- 目標：自分の子どもへの投げかけのクセを知り、マイナスの投げかけをコントロールできるようになる
- 内容：講座＋課題&レポート＋フィードバック
- 時間：・オンライン2.5時間/回 × 2回 または対面1日（5時間）
・練習&レポート1回
・講師フィードバック1回
- 費用：330,000円（税込・旅費交通費別）
- 定員：20人（1団体から2名以上参加、複数団体同時受講可能）

活動中の団体におすすめ
☆☆☆

●C 実践講座 (団体ごとの個別ヒアリング付き)

- 目標：自分が「聞きたいこと」でなく、子どもが「話したいこと」から信頼関係をつくりながら、情報収集ができるようになる、団体での活用方法がわかる
- 内容：講座＋課題&レポート＋団体別ヒアリング
- 時間：オンラインおすすめ2.5時間/回 × 4回または2日(10時間)
・練習&レポート1回
・個別ヒアリング 1回/団体（1回30分 × 最大3団体）
- 費用：660,000円（講師1名謝金・教材費・税込・旅費交通費別）
- 定員：10人（1団体から2名以上参加、3団体同時受講可能）

個別ヒアリングで「聴いてもらう」体験&団体別の活用方法がわかる！
☆☆☆

研修A・Bは個人のスキルアップを、
研修Cは、組織のスキルアップを目的としています。



研修講師：大和

研修のご案内：ステップアップコース

団体別で、オンラインと対面を組み合わせ

●D 応用研修（子どもの意見を尊重し活動に活かす）

- 目標：収集した情報をベースに、子どもに対して、課題分析を促す投げかけができるようになる
- 内容：講座＋課題＆レポート＋個別コーチング2回
- 時間：オンラインおすすめ2.5時間/回 × 6回または3日(15時間)
 - ・練習＆レポート1回
 - ・個別コーチング2回/団体（1回30分 × 最大3団体）
- 期間：半年～1年間
- 費用：1,100,000円（講師2名謝金・教材費・税込・旅費交通費別）
- 定員：10人（1団体から2名以上参加、3団体同時受講可能）

長期的な視点で
活動をしたい団
体におすすめ

★★★

●E 伴走支援（人材育成の仕組みづくり）

- 目標：事業のなかで、団体独自の支援者向け研修教材制作や調査企画などに関わることで、実際に子どもの声を反映した事業形成と実施ができるようになる
- 内容：D応用コースの内容＋事業形成や事業実施に係る個別コーチング（月1～2回程度）
- 期間：1.5年～3年間
- 費用：Dコースを参考に要見積
（目安1.5年で2,750,000円 講師2名謝金・教材費・税込・旅費交通費別）
- 定員：2団体/年間（1団体から2名以上参加）

次世代を育成
したい団体に
おすすめ

★★★

まずは、オンラインにて
研修のご希望をお聞かせください。
【お問合せはQRコードから】



子ども支援分野活動実績

●プロジェクト●

- 2022年度 子どもの話を聴く技術体験プログラム 助成：コープともしびボランティア振興財団（2022年4月～2023年3月）
- 2022年度 厚生労働省受託事業「予防・健康づくりに関する大規模実証事業に係るコミュニケーションツールの開発・評価等一式」（2020年7月～2021年3月）
- 2018年度から2020年度 伴走支援プロジェクト：西宮で広げる、地域で助け合う子育ての輪プロジェクト（助成：ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ）

伴走支援をしたNPOスタッフの声を
ニュースレターでご紹介しています。



●講座●

- 2022年度 厚生労働省「見守り体制強化促進のための広報啓発事業」研修当事者の声を聴く技術～「メタファシリテーション®」運営：NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ（2023年2月）
- コープともしびボランティア振興財団 子ども支援団体対象講座（2023年2月）
- 第30回子どもの権利条約フォーラムin那覇/沖縄 分科会「子どもの話を聴く技術体験セミナー」（2022年12月）
- たつの市子育てつどいの広場「分かり合う対話術」「わくわく親子講座」（2019年2月・11月）

●マイクロラーニング動画●

- はじめて視聴する方へ
- 「なぜ？」を「いつ？」に変えてみる
- 最近の様子が知りたいときどうする？
- 求められないアドバイスをやめる
- メタファシリテーション®ができるまで



「はじめて視聴する方へ」
では、研修に参加した支
援者の声を紹介しています



研修講師：原

研修参加者の声

●講座に参加して●



野外活動団体のAさん

野外活動に来た子どもに「朝は何食べてきた？」
「車で来たの？」と到着するまでのことを聞いたら、
どんどん自分から話してくれました！
こうしたやりとりの積み重ねが楽しくて、
子どもとの会話に迷いがなくなりました。

聞いた

気づいた

子どもに声をかけるときに全く意識して質問して
いなかったことに気づきました。例えば、「なん
で？」と聞いても、子どもからきちんとした理由が返
ってきたことなどなかったのにいつも同じ質問を繰り
返していたことに気づいたのでです。



放課後児童クラブのBさん

●3年間の伴走支援を終えて●



家事・育児サポート団体のCさん

●個人としては、「話を聞いてあげなきゃ」と前のめり
にならず、まずは観察して子どもの変化に気づけるよ
うになりました。

個人で

●ムラのミライの伴走支援、かなり負荷がかかってし
んどかったです。私の能力よりいつも少し
高めの仕事が求められていた気が…(笑)。

●でも、1年、2年と振り返ってみると、子育て中の家
族の調査を自分たちでやり、そのデータをもとに専門
門家や行政に協働を求められるようになったり、団体
内で「なんとなく同じ気持ちで活動してるんだろうな」
ではなく、一人一人の言葉で団体の活動理念を共
有できるようになっていきました。

団体で

「聴く技術」を磨き、支援の質を高める



セネガル：
小農による循環型農業



NGOによる住民主体型プロジェクト形成・実施のための方法論と技能



予防・健康づくりに関する住民参加型コミュニケーションツール開発



兵庫県西宮市：
地域で助け合う子育ての輪



鳥取県倉吉市：
コミュニティファシリテーター養成研修



インド：
循環する村づくり



インド：
おばちゃん信金



ネパール：
小中学校を中心とした環境教育

●国際協力での経験をコミュニケーション研修に

ムラのミライは1993年から、国際協力の現場で地域の人びとの経験や知識を引き出す活動を行ってきました。また当事者主体で課題分析／解決を促す「メタファシリテーション®」手法を開発し、国内外のNGO／NPOのほか、国内の子ども支援、医療福祉現場でコミュニケーション研修を実施してきました。

●子どもが安心して話せる大人を増やそう

日本では、子どもの自殺や不登校が増加の一途を辿っています。こども食堂などの居場所が増える一方で、NPOの資金不足を背景に支援者がコミュニケーション研修に参加する機会はほとんどありません。自治体、助成団体などと協働してコミュニケーション研修を開催することで、あなたの地域に子どもが安心して話せる支援者を一人、また一人と増やすことができます。まずは開催のご希望内容をご相談ください。

認定NPO法人ムラのミライ

メール expert@muranomirai.org 電話 050-3096-6399
〒662-0856 兵庫県西宮市城ヶ堀町2-22 早川総合ビル3F